高幹部は盡く犠牲に擧げられる模様であるが此の外にも心から今日の擧に賛同しゐるものにも漸次解雇の手が延ぶ筈で目下内偵中である

處分方法としては先の中村、宮田兩職工の罷免が大波瀾を卷いたのに鑑み先づ事情的に陰示解職の方法をさるらしいが失業不安に神經昂奮してゐる廠内の職工が此の際大動搖を來す憂ひあり職首發表のこゝ數日は最も注目されてゐる

當局の聲明

[illegible]勅決議に對し[illegible]兵工廠當局[illegible]明して曰く

彈劾決議の内容を調査した結果、官紀秩序の維持上許容す可からざるものがあるのは甚だ遺憾である中村、宮田二職工は明白なる理由により止むなく解雇したのである然るに八木等一味の者は理非を辨ぜず徒に不當呼ばりをし不穩の言辭を弄し從業員の思想に惡印象を與へた、右は勞働運動とは全然性質を異にして居る、コレを默過する時は廠内の規律を紊亂するものを是認することゝなるから此の際調査の上斷乎たる處置に出る云々

大阪工廠と憲兵隊の大緊張

八木向上會長を始め幹部連の解職に關し

大阪工廠横山提理の彈劾決議をした八木向上會長を初め幹部員に諭旨解職の手段を執ることは最早や明かであるが差當り解職すべき最高幹部の六七名は決定してをる模様で調査完結次第發表されるだらう而してこれに關聯して引續き各工場につき同會評議員二百餘名の調査を行ふべく事態重大なので大阪憲兵隊では豫防警戒に努めてをるが八日午前加々美府特別高等課長は同會を訪問し師團司令部からも中谷參謀が訪づれ更に午後四時頃新見分隊長が折柄來訪した砲兵工廠當局と自動車を驅つて何處へか走り同隊内は甚だしく緊張して居る（大阪電話）

向上會長等十名馘首さる

提理彈劾事件で

大阪砲兵工廠横山提理彈劾事件に關聯して八木大阪向上會長、廣永同副會長等十名に對し工廠當局は十日午前八時の出席時刻を期し左の解傭理由書を附して一齊に馘首を宣告した

解傭理由書 去る三月九日の騷擾事件に就ては秩序を維持する上から云つても亦一般從業員の安寧幸福を圖る上から云つても捨て置く譯に行かぬから當事者は十分取調をして責任官吏以下關係者を處罰したのみで何等他意あるのではない然るに貴下は理非を辨へず此處置を不當とし提理を始め當局者を彈劾するが如き擧に出でたるは眞に遺憾であつて當廠の職工として服務せしめ得ざるにより解傭する次第である

宛ら戒嚴令

一個中隊出動

歩兵第三十七聯隊第三中隊長島本大尉は衛戍司令官の命を受け部下軍隊五十名を引率して工廠内藥莢工場を衛兵所に充て直に工廠内建物及治安維持に當り新見憲兵分隊長亦憲兵二十名を引率して工廠内を警戒する、將校は悉く日本刀を帶び兵士は武裝し要所々々を固める等宛然戒嚴令下である尚今回馘首されたものは皆向上會の最高幹部であるが近く決議に加はつたものを物色して第二次の馘首を行ふと、因に勤續賞與及び陸軍共濟組合脱退救濟金は支拂ふことに決して居ると（大阪電話）

首は二度飛ばぬ

馘られた大阪向上會の幹部不正事を摘發すると語る

工廠側から解雇の通知を受けた向上會では入り口の扉に新聞記者以外のものゝ出入りを禁ずとのはり紙をなし本部内は異狀の緊張味を見せ八木會長は充血した目を光らせながら

初め工廠側から高壓的手段に出で來た故其對應策としてやつた事が問題になつたのです、今後は龍頭蛇尾に終らぬやう運動を繼續し工廠内の或種の不正行爲を摘發したいと思つてゐます

と語りそれと同時に左の宣言書を發表したがこの宣言書は一萬枚印刷して解雇されたものが白襷をかけて十一日朝工廠の各通用門門前で通勤者に手渡しする筈

おれ達の首は最初からの豫期の通り切られる覺悟の上の最期だから今更別段驚かない一度首切りになつたものはもう一度首に成る氣遣はないのだから今後はおれ達馘首團に於て徹底的に彈劾運動を繼續するけれどもおれ達あく迄も勞働組合を愛護せなければならない最小の犠牲を以て最大の効果をさめんとするのがおれ達の最初からの願望なのだ當局は暴動を待つてゐる會員諸君は此際おれ達に對する義理合から直接行動に出でて敵のわなに陷るが如き事なからん事を切に望む（十日、大阪發）

大阪工廠職工同盟罷業か

今日態度決定

白襷した馘首者連出勤職工に宣言配付

馘首後大阪砲兵工廠は依然警戒を緩めず十日夜も軍隊の手で要所要所を固め當局では不穩の擧ありと見れば更に

第三次 第四次の馘首もし兼ねまじい模様である一方向上會では同日午後六時から東區島町一丁目の本部で理事會を開き會の態度につき協議したが馘首者側が會の維持を顧慮して少數の犠牲のみに止めんとする意嚮に反し殘留の理事は八月になれば軍縮の結果馘首されるのは分り切つて居るから此際

玉碎を 覺悟で同盟罷業に出づるに如かずと頗る強硬な議論を吐き大勢既に其方に決しやうとしたが既に馘首團の宣言も作成されて居る事とて之を工廠全員に通達した上其意志によつて十一日中に態度を決定する事となり同夜更に理事會を開く筈である馘首團は一部所報の如く馘首團と記した白襷姿で十一日早朝職工の出勤時間を玉造東、北、表の

四門に 邀して一萬枚の宣言印刷物を配付する筈尚來る十四日には天王寺公會堂で檳榔札彈演說會を開いて一般市民に馘首顛末を愬ふる筈で友誼團體たる關西勞働同盟會及び東京砲兵工廠、日本勞働聯盟からも應援辯士出場する由

馘首者が工場創立

理想的産業自治の制度で

十日迄に馘首された向上會服務者